

CCS COFFEE NEWS

Coffee &
Communication

11

2024

vol.574



今月の
コーヒー

11月のおすすめ

エメラルドマウンテン

——— **コロンビア**



コロンビアが誇る、コーヒーの至宝

「エメラルドマウンテン」は、コロンビアコーヒー全生産量のわずか1%の厳選された豆だけに認定されます。名前には、コロンビアの至宝エメラルドとアンデス山脈にちなみ、希少価値を持つ高級豆という意味が込められています。甘い香りと心地よい酸味、まろやかなコクが広がります。

コーヒー業界の最新情報!

COFFEE TOPICS

2024年
11月版



ブラジル、ベトナムで減産…

コーヒー原料価格 止まらぬ高騰

アラビカ種の国際指標であるニューヨーク先物価格は、9月末に260セント/ポンドを記録。前年同月比で60%も上昇しました。

コーヒーの開花期を迎えているブラジルでの降雨量が例年に比べて5%未満と極端に少なくなっており、ほぼ干ばつの状況が続いているのが高騰の理由です。もし、11月も降雨量が少なければ、大幅な減産が予想されます。

一方、主にインスタントコーヒー向けとして使われるロブスタ種の国際指標であるロンドン先物価格も、10月初旬に一時5,500ドル/トンに達し、過去最高値を更新しました。これも主な生産国のひとつであるベトナムでの干ばつに対する懸念が影響しています。

そのほかにも、2024年末からヨーロッパで施行される「欧州森林破壊防止規則(以下EUDR)」の影響が見込まれています。このEUDRが適用されると、コーヒー生産者の対応に時間やコストがかかるため、供給が減少するとみられており、さらなる価格高騰が懸念されています。

沖縄から全国へ!

沖縄生まれの「久米島コーヒー」



沖縄本島から西へ約100kmに位置する久米島。現在、この久米島で栽培されているコーヒーが注目を集めています。

久米島産のコーヒーは農薬不使用で栽培され、収穫は手摘みで行われています。その味わいはフルーティーで飲みやすいのが特徴です。

現在、久米島では5人の農家が4つの農園で約5,000本のコーヒーの木を栽培しています。その中でも「しらせコーヒー園」のコーヒー豆は、2022年にコーヒー品質協会(CQI)から高品質なスペシャルティコーヒーとして認定されました。

久米島ではこの認定をきっかけに、「しらせコーヒー園」のオーナーである安村翔太さんを中心に、農事組合法人「久米島コーヒー生産組合」が発足。行政と協力して「久米島コーヒー」をブランド化し、沖縄本島で販売するプロモーションが始まりました。中には1杯2,500円で提供するお店もあるそうです。

今後は、さらなる生産拡大を目指し、販路の拡大など、様々な活動が進められていく予定です。

老舗和菓子店が続々と開発!

コーヒー香る「ネオ和菓子」



近年、老舗和菓子店から、コーヒーを使った「ネオ和菓子」が次々と開発されています。

これらの商品は、焙煎したコーヒー豆の個性を引き出しながらも、和菓子ならではの滑らかな口当たりや、上品な甘さとの融合を実現しています。また、この「ネオ和菓子」は、コーヒーだけでなく、緑茶や紅茶といった様々な飲み物とも相性が良く、年々人気が高まっています。

創業360年の老舗和菓子店でも、「カカオと小豆、コーヒーを組み合わせたら面白いのでは」という発想から、和と洋の垣根を超えたショコラテリーヌが開発されました。

弊社でも、数年前から「珈琲羊羹」を取り扱っており、根強いファンの皆様に支えられています。一度食べていただければ、病み付きになること間違いなしです。



シーシーエスのコーヒー作りへの思い

おかげさまで70周年。シーシーエスがコーヒー作りに込める思いをご紹介します。

第11回「有機コーヒー」に込める思い

皆さんは「有機コーヒー」というコーヒーをご存知でしょうか？有機コーヒーとは、化学肥料や農薬、遺伝子組み替えに頼らず、自然そのものの力を活かして栽培されたコーヒーのことです。土壌はもちろん、周辺の自然環境への負担が少ないだけでなく、農園で働く人にとっても、薬品による健康への影響が少ないため、「地球にも人にもやさしいコーヒー」として人気があります。



しかし、有機コーヒーを製造するためには、以下の3つの厳しい基準が設けられています。

- ✓ 有機JAS認定を受けたコーヒー農園で栽培・収穫されたコーヒー生豆であること
- ✓ 生産から出荷までしっかりと工程管理(文書による追跡)ができること
- ✓ 有機JAS認定を受けた工場で焙煎・包装されていること(年1回の実地監査)

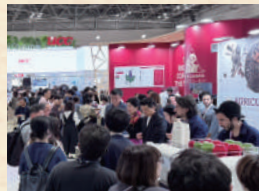
弊社の工場では、2013年に有機JAS認定を取得し、今年で11年目を迎えました。有機コーヒーは多くのお客様にご愛顧いただき、現在では取り扱い数量全体の20%を占め、なかでも「有機栽培コーヒー ペルー アルトアンデス」は、弊社を代表するコーヒーのひとつになりました。

弊社では、有機コーヒーの焙煎には一層の注意を払い、風味を大切にしてきました。こうした厳しい基準や美味しさを保つ品質管理が、高い評価とご愛顧につながっていると信じて、これからも美味しい有機コーヒーをお届けしていきたいと思えます。

CCSがお届けする今月のニュース

SCAJ2024「新たな10年、エンジン全開で行こう！」 世界中からスペシャルティコーヒー愛好家が集まる

アジア最大級のスペシャルティコーヒーイベント「SCAJ2024」が、10月9日～12日に東京ビッグサイトにて開催されました。出展者数は昨年の300社から約390社に増加し、過去最大規模となりました。



今年のテーマは「Let's go full throttle into a new decade/ 新たな10年、エンジン全開でいこう!」。AIの導入や自動化、デジタル化の流れによって変化していくこれからの10年を考えるイベントになりました。各社ブースでは世界各国のスペシャルティコーヒーが出品され、精製方法も様々でした。また、今年は特にワインやフルーツを入れて発酵させた「インフューズドコーヒー」の取り扱いが増加した印象を受けました。メーカーのブースでは、これまでとは異なる形や素材でできた国内外のエスプレッソマシンやコーヒーマシン、焙煎機などの業務用機器が展示されており、最新のトレンドを体験することができました。今回の展示会で得た情報を、お客様のビジネスに貢献できるように活用していきたいと思えます。

この冬のおすすめ商品をご紹介します。 2024 冬のおすすめギフト

ゲイシャブレンド

もともとエチオピアのゲシャという地域に自生していたことからその名がついたゲシャ種。日本では馴染み深い「芸者」という言葉からゲイシャ種と呼ばれています。ゲイシャ種は紅茶のような優雅な香りと、柑橘類のようなフレッシュで明るい酸味、深みのあるコクが特徴で、ブルーマウンテンやハワイ・コナに並ぶ高級コーヒーとして認知度は年々高まっており、特に若年層から人気を得ています。



100g×2缶 / 3,900円(税込)

今回のゲイシャブレンドには、エチオピアとブラジルのゲイシャ種を合わせて50%使用したブレンドで、華やかな味わいのコーヒーに仕上げました。

● エチオピア ゲイシャ

「ゲシャ」の名前の由来であるエチオピア南西部にあるゲシャ村のコーヒー。原生林が広がるゲシャの故郷で採れたコーヒーの風味は、エチオピアらしい赤い果実の甘みと、華やかな香りを兼ね備えた味わいが特徴です。

● ブラジル ゲイシャ

新しいコーヒーを生産することで注目を集めるブラジルのサントウアリオ・スル農園産のコーヒー。ジャスミンのような華やかな香りとしっかりとした甘み、クリーミーで滑らかな口あたりが特徴です。

冬ブレンド「醸」^{じょう} ドリップバッグ発売開始!

お店で提供するコーヒーにも、季節感を演出してみたいかごでしょうか?「冬ブレンド「醸」」は、寒く張り詰め凛とした“冬”をイメージしたブレンドで、「キレのある酸味とほろ苦いコク」が特徴です。ブレンドの軸としたタンザニアには、高品質の証“キボー(KIBO)”の名を冠したスペシャルティ規格のコーヒーを使用しています。



冬季限定コーヒー「醸」

袋タイプ 内容量:200g(豆)
ドリップバッグタイプ 内容量:10g(粉)
販売期間:2024年12月1日~2025年2月末
納品期間:2024年11月中旬~2025年2月中旬

※試飲用として40gをご用意しています。
※詳しくは営業担当までお問い合わせください。



おかげさまで「コーヒーショップボルサ」40周年！ 40周年記念イベントのご案内

弊社が運営するカフェブランド「コーヒーショップボルサ」が40周年を迎えました。

コーヒーショップボルサは、1984年（昭和59年）の住吉店のオープンを皮切りに、当時の名古屋では珍しかったセルフ形式のカフェとしてスタートしました。

現在では東海3県に10店舗を構え、地域密着型のコーヒーショップとして幅広い層のお客様にご利用いただいております。

コーヒーショップボルサではこの40周年の節目にあたり、日頃の感謝の気持ちを込めて11月から40周年記念イベントを実施していきます。

お店で使えるお得なクーポンの配布や40周年記念ブレンドの販売のほか、コーヒーチケットや40周年記念ブレンドが当たるガラガラ抽選会を予定しておりますので、この機会にぜひお近くのコーヒーショップボルサにご来店ください。



第8回 直営店ディスプレイコンテスト



今年のディスプレイコンテストは「秋」をテーマに、秋商材の販売強化を狙う店頭演出を直営店全店で競いました。今回の優勝店は「ボルサ アズパーク店」！今回で4連覇となりました！コンパクトな物販コーナーに多種類の商品がディスプレイされていますが、スッキリとして見やすく、アイデア満載のお手製POPや小物で季節感を取り入れていて、つつい見入ってしまいました。また、お客様の視点に立ったディスプレイで、売りたい商品がしっかりとアピールされていて分かりやすい陳列でした。

2位と3位は2点差という接戦でしたが、2位は「ボルサ桑名店」、3位は「プロスペール安城南店」という結果となりました。今回の上位店舗は、棚に商品を詰め込むのではなく、商品との間に絶妙な空間を作ることで、商品の存在感を際立たせたディスプレイが特徴的でした。ディスプレイの効果もあり、物販の売り上げは着実に伸びています。店内・レジ横の季節感の演出、集客に繋げる商品陳列の参考になれば幸いです。

LINEで発注できる新サービス 「クロスオーダー」導入開始のご案内

この度、新しい発注方法として、LINEで発注が完結する新サービス「クロスオーダー」を導入することとなりました。

従来の電話やファックスでの発注に加えて、LINEアプリからいつでもどこでも簡単に発注いただけるようになります。

本サービスの導入は12月頃を予定しております。準備が整い次第、営業担当からご案内いたしますので、ぜひご活用のご活用をよろしくお願いいたします。



利用料無料！

24時間いつでも発注可能

新メニューのアイデアにどうぞ！
直営店のイチオシメニュー



食物繊維、鉄分、
カルシウムたっぷり！
ほっと一息つきたい
ときの一杯に。

ホット/アイス Mサイズ ¥490(税込) 詳しくは営業担当へお問い合わせください。



「今月のコーヒー」として、元気なお店づくりにいかがですか？

12月のおすすめ

ブルーマウンテンNo.1ブレンド

—— ジャマイカ



来月の
コーヒー

コーヒーの王様、ジャマイカ産ブルーマウンテンNo.1を贅沢に使用

ブルーマウンテンが栽培される地区は、午前中はカリブ海の日光で気温が上昇し、午後は霧で日光が柔らかく遮られ気温が下がります。「美味しいコーヒー」に生育する大きな条件に15℃～30℃で栽培することが挙げられますが、ジャマイカでは霧が樹々を覆うことで急激に気温が下がり、コーヒーの葉や実に結露が発生します。そのため降雨が少なくても、樹々は乾燥のダメージを受けなくて済むわけです。カリブの太陽と豊かな自然、陽気なジャマイカの人々によってブルーマウンテンは育てられています。



抽出方法 **ペーパー** **サイフォン** **ネル**

詳しくは営業担当までお問い合わせください。

CCS
70周年
企画

ボン・ボヤージュ

コーヒー新時代を目指して -59-

タンザニアコーヒーを管理しているタンザニアコーヒー協会(CAT)でタンザニアのコーヒー事情を聞いた後、私はキリマンジャロ山の麓にあるアルーシャという地域のコーヒー農園を訪れた。

この農園は、標高1,500mの場所にあり、高原とはいえ日中は日差しがきついため、シェードツリーとしてバナナの木を用いていた。また、ブラジルの農園とは異なり、緩やかな平地であっても機械化された農機具はなく、手入れや収穫などはすべて手作業で行なわれていた。

柔らかな酸味が特徴のタンザニアコーヒーは、

ヨーロッパの小売店では‘タンザニアコーヒー’として売られているが、日本では‘キリマンジャロコーヒー’として売られている。

日本でキリマンジャロが認知されるようになったのは、1952年に公開され、日本でも大ヒットしたヘミングウェイ原作の「キリマンジャロの雪」という映画がきっかけだといわれている。舞台となった神々しく崇高なキリマンジャロ山のイメージと、上質なキリマンジャロコーヒーの味わいの相乗効果によって、キリマンジャロの名前が定着していったのかもしれない。
(会長 服部卓也)

編集長の
独り言

月に一度くらい行くりサイクルショップでブームが去ったキャンプ用品のコーナーを何気なく見ていると、高嶺の花だったブランドの製品が山積み。しかし、プライスカードを見てみると決して安くはない価格。ブームが去った今、果たして需要はあるのか…。世の中に中古のキャンプ用品が溢れ返る反面で、メーカーは新品が売れなくて大変らしい…。つくづくブームって恐ろしいものです。